

## 平成24年度第1回小牧市地域協議会市民会議会議録

**1 開催日時** 平成24年7月12日(木)

午前10時～午後0時15分

**開催場所** 小牧市役所 旧本庁舎4階 第4会議室

## 2 出席者

(1) 市民会議委員 19名

(2) 事務局 市長公室：松岡市長公室長

協働推進課：鍛冶屋課長、石川課長補佐、堀田地域協働係長、  
大塚主査、葛谷 6名

(3) 傍聴者 2名

## 3 会議資料

会議次第

小牧市地域協議会市民会議委員名簿

小牧市地域協議会市民会議委員設置要綱

議題(1)の補足資料

別添資料① 地域協議会に関する区長会との意見交換会結果

別添資料② 区の活動状況に関するアンケート調査結果

別添資料③ 地域協議会制度概要案

## 4 会議内容

1 委嘱状交付

2 山下市長あいさつ

3 正副会長の選任

- ・委員の互選により会長に稲垣委員、副会長に伊東委員を選任
- ・会長よりあいさつ

4 議題

### 【会長】

それでは、皆さん方のお手元にあります次第に従って進めていきたいと思っております。

4番目の議題に入ります。

1、制度の概要などについて、事務局の説明をお願いいたします。

[事務局から資料に基づき、今までの取り組み状況や制度概要案について説明]

**【会長】**

ありがとうございました。

ただいま事務局のほうより説明がありました。

これに何か皆さん方のほうで御質問がありましたら、御意見を申し上げます。

**【委員】**

提案として、小学校区という話がありますが、これは決定ですか。

**【事務局】**

市としましては、今小学校区でということで検討しておりますが、意見交換会の中では、例えば巾下地区だと西部コミュニティ運営協議会がございまして、南部もそうですが、そういう既存の協議会があります。

そういう協議会との関係ですとか、さまざまな地域によって課題がございしますので、それは地域に入って、また協議をしていきたいと思っております。

ただ、基本的には小学校区単位で制度設計をしていきたいと考えております。

**【委員】**

まだこれからも検討するという話ですが、地域協議会の単位が決まらないと、次の検討が難しいかと思えます。そういうことで、まずは単位を決めるべきじゃないかというふうに思いますが、どうでしょうか。

**【事務局】**

今おっしゃるように、単位を決めないといけないと思えますが、一方、意見交換会では、非常にその辺についての御意見もありますので、市では一方的に決められないという感触は持っております。

これについては、御意見ということで承っておきまして、今後、検討を進めていきたいと思っております。

### 【会長】

ちょっとその件で、この設置要綱の第1条に、区より広域で効率的かつ効果的に地域活動を展開しという項目があります。だから、ちょっとみたところ、これは区より大きい範囲でやれば、地区ごとによって多少、小学校区単位でなくても良いのではないか、まだ区以外でもうちょっと大きくしていけるところと、そういう解釈かなあと思ったけれども、その辺、どうしてこの1条にこの文面が入っているかということを知りたい。

### 【事務局】

区より大きい単位で、今会長がおっしゃったように、例えば幾つかの区が合同でという話だとか、いろんなパターンが考えられると思うのですけれども、私も地域協議会という制度を市全体として考えていく中では、先ほど申し上げましたが、区の次に大きい小学校区単位というのが一番適切ではないかということを考えており、基本的には小学校区単位でということ考えております。

### 【会長】

ありがとうございました。

### 【委員】

小学校区単位だと、今16小学校があるということで、16、それなりの事務所、また拠点もつくらなきゃならんだろうということになる。

拠点もないのに立ち上げてやって、一体どこで活動するかということが、僕たちふらっとみなみのほうでやらせてもらってよくわかる。

ふらっとみなみも運営協議会の事務所がない。事務所がないで、どこでやるかということで、学習室の一部を借りて机を1つだけ提供してもらってやっている。

それでは大変不便だということで、まず事務所をつくらなきゃならない。小学校単位でそれぞれ持ち回りで、今年は何々区が事務所である、今年は何々区が事務所であると移転することもできないだろうし、箱も何もないのに、こういうものを立ち上げてやっていくということは大変だと思う。

もしできるのであれば、今、行政区が6区で、南部地区はふらっとみなみですね。それから、篠岡地区のほうは東部市民センター。味岡は味岡センターがあるし、ほかに小牧はパークアリーナもあるので、そういうところを拠点として、事務所を構えてやるということならできると思うが、最大でも中学校の9ブロック

ぐらいにしないと、16地区それぞれ箱をつくってくれればいいけど、そうでないと大変だと思う。

たまたま南部地区はコミュニティセンターがあるのでいいけど、片方の米野地区においてはそういうセンターがない。各区の会館がある程度しかできんということで、非常に活動しにくい。

また、箱以外に駐車場が要るわけです。駐車場もない状況で、イベントをやれとか、これをやれとか、とてもじゃないができるものじゃない。

そういうことまで考えて、よほど駐車場を確保して、建物をつくるスペース、それから事務所を構えるところもつくっていかないと無理だと思います。

せっかくだいい提案で、ぜひ進めてもらいたいけど、進めていくには、市がよほどの協力をしない限りは進まない。僕たち、ふらっとみなみの設立の時からやってきているけど、5回や6回の会議で決めれるものじゃない。

出発することはできると思うけど、途中で中折れして、ただ絵にかいたもちになってしまうということならやらんほうがいい。

今まで3あい事業だとか何とかかんとか、たくさんの事業がつくってきただけ、それもみんな途中半端だ。予算が少ないからやってないとか、そんなものだったら、今経費節減ということだけど、経費をつぎ込むだけ。また、人件費もつぎ込むだけ。

また、地域の人たちにしてみると、要らん仕事が余分にできるだけで、何もならないことになるので、作るんだったらきちんとしたものを、協議会は1年2年かかってもいいので、ぜひしっかりしたものをつくってもらいたい。

## 【事務局】

ありがとうございました。

今拠点が必要ということにつきましては、私ども同感であります。

先ほど御説明させていただきましたとおり、本来であれば西部、南部のコミュニティセンターのような立派なものができるればいいのですが、とてもそれは無理ですので、先ほど申し上げましたとおり、既存の施設を利用しながら、状況を見ながら、拠点についてはぜひ設置をしていきたいというふうに考えております。

また、先ほどもありましたが、拠点とともに区長さんや各団体の方は、単年度や、数年で替わっていきます。そういうことに対して継続性を持たせるためにも、そこに継続的に事務員さんが見えになると、事業や活動の継続性も保てると思

いますので、そんなことを検討して御提案をしていきたいと考えております。

#### 【委員】

小学校単位でつくるというのは大変だ。来年か再来年か出発するということは、その拠点はどこにするのか。

#### 【事務局】

今、16校区でということでありましたけれども、一気にすべての校区で1年後、また2年後に立ち上がるとは考えておりません。

立ち上げ方としましては、いろいろ御説明をさせていただいた中で、機運が高まって、やってみようという合意ができたところから順次立ち上がっていくものと考えております。

他の先進事例を見ていまして、全部の地区が立ち上がるのに5年、10年というスパンがかかっておりますので、その中で仮に立ち上がっていくところにつきましては、その立ち上がりには支障が出ないような形で、拠点というものを既存の公共施設の中で何とか確保していきたいと考えております。

#### 【委員】

5年も6年もかかると3あい事業みたいなもので、129行政区のうち、半分ぐらいはやってないよ、3あい事業も。

それと一緒に、じゃあやらなくても良いのだみたいになって、立ち消えに、本当にやったところは5、6地区かどうか知らないが、あとは終わってしまっている。

#### 【事務局】

立ち消えにするような気持ちは全く持っておりません。逆の方向で、1つ2つ立ち上がって、そのモデルの活動状況が非常にいいものだと、例えば南部さん、西部さんのように一生懸命活動されて、その状況がいいなあと、ぜひうちの小学校区にもこういう活動なり、こういう拠点があって、こういう助け合いができればいいなあとというプラスの方向に持っていけば、先進事例ではかなりかかっているというような状況がありますけれども、ひょっとしたらそれが短縮できるかもしれないと思っております。

ただ、全国の事例を見てみますと、そう一遍に立ち上がるものでもないです

し、逆に地域の熟度が低いうちに立ち上げてしまうと、かえってそのほうが問題ではないかと考えております。

### 【委員】

まず幾つか情報をいただきたいのは、2年間で任期中、この2年間、どう進めるかというのは、僕は一切聞いてないので、まず伝えていただくのが第1点ですね。

それから、今、発言がありましたけれど、既存活動なり、地域3あいもそうですけど、結局さっきの説明でも高齢者のことがありましたけれども、地域包括支援センターをつくって、地域で世代交流だとか、高齢者の介護だとか支援しているというのを一方で進めていますね。

これが地域協議会とどういうふうに重なってくるのか。それに、尋ねていくと、子ども会があるところもあればないところもある。子ども会って、言葉だけはあるけれど、そういう位置付けはどうなるか。

あるいは中学校でいえば、小牧独特かもしれないけれども、ジュニア奉仕団という制度がありますね。いろんな組織があって、それがどう、地域といたらすべて包括するというふうに受け取れるのですが、その辺がどうなのかということが少しも見えてきてないですね。

だから、既存の組織とか協議会とか活動をどう見直して改善して、それがしっかりやれば、地域支援もこの会でやる必要が本当になくなっていくかもしれない。むしろ横断的に情報をどう共有していくか、連携していくかということが重要なわけで、だから、その辺がどうなっているかということが教えてほしいと思う。それは事務局サイドでどういうふうにされたかですね。

それからもう1点は、小学校が16校ある。さっき、少子化の説明があった。春日井市なんかはありますけど、小牧の場合、学校の統廃合は結局ないのか。

これ10年はあるかもしれないけど、その先、例えば東部でいえば陶小学校、1学年1クラス、下手すれば1クラスやっとなんかというふうになってきたときに、本当に子供たちが多様な相互世代との交流が可能かどうかと考えたら、本当に見直さなきゃいけない要素ですね。

その辺、本当に小学校区単位というふうに言われるけれども、16あったら、一般論じゃなくて、それぞれの学校区でどういう顔ぶれがあって、どういう課題があって、学校自身の課題は何かみたいところを含めて検討しないと、ここでやる前提条件が出そろっていないというふうに見えるのですよ。それが知りたいと

ころです。

それから4つ目ですけど、平成23年、24年まで、今まで準備を進めてこられたとあったけど、区長さん方はそのプロセスとか情報を持っていらっしゃるかもしれないけど、私たちは情報を一切もらっていないわけですね。これもいただいて、それも頭の中に入れて、情報をいただいた上で同じテーブルに着かないと議論が深められないです。だから、それはいただけるのであればいただきたいなと思います。

それから最後にもう1点申し上げたいのは、会議というのは、基本的には10人を超えたらもう議論にならないわけですよ。これ20人ですね。そうしたら、あたりさわりのない意見を言って、追認する。もう大体流れがつけられた協議会をやりましょうという話になりかねないですね。だから、最初の日程とあわせて、本当に活発な議論できる単位、こんな互いに向き合うのではなくて、テーブルで10人、丸テーブルでいろんな意見を言い合って、20人ですから3つか2つか、それぐらいにやって、それで持ち寄って全体でまた意見集約していくというやり方を考えていただいたほうが、僕は実りあるものとなると思います。

長く言いましたけど、5つ言いましたので。

### 【事務局】

最初の、2年間の任期のスケジュールはどうなっているかということなのですが、これも今、基本的な制度設計を行っておりまして、それに対して各地域で意見をいただいておりますので、それを踏まえまして、またお示しをしたいと思っております。

次の既存の計画ですね。例えば包括支援センターの関係だとか、PTAだとか、中学校の活動、ジュニア奉仕団の活動の関係について、その辺の情報がないということですけども、これにつきましては、非常に地域によって、あるところはPTAが活発、子ども会が活発、あるところは先ほど御指摘があったように子ども会がないというところがあります。

これについては、私どもがそれぞれ個々を調べるのも1つ手なのですが、できれば小学校区ごとに、それぞれの各種団体の方が集まっていたいただいて、まず情報交換をするのも手かなということを考えております。

区長さんと意見交換会の中で、または各種団体との中で、区長さんがしっかりリーダーシップをとってまとめてみえる区もございますし、子ども会が何をやっているかだとか、ほかの地域の団体が何をやっているのかよくわからないという

ようなところもありまして、確かに地域の課題なり活動内容というのはわかりにくいところがあります。それについては、今後そういった情報共有ができるようなものについても検討していきたいと思っております。

3点目の、学校が16校あって、統廃合はどうなっていくかというような御質問と思えますけれども、これについては将来的な方向性としましては、先ほど説明させていただきましたとおり、子供は減っていくのだろうということで、学校もあいていくと想定されます。ただ、それについて具体的に小牧がどういう状況になっていくかというのは、今のところまだ見通すことが難しいですので、将来的にはそうなるということの認識ということで、御意見として踏まえたいと思えます。

4点目につきましては、23年度、24年度にいろいろな活動をしてきた情報が全くないということですが、これについては私ども、先ほど御説明はさせていただきましたけれども、これの細かい資料について、出せるものは出していきたく思いますし、その情報共有をしながらしっかりと議論していくというのは、事務局もそう思っておりますので、そういう方向に進めたいと思えます。

最後の、議論が10人を超えればできないのではないかというような御意見ですが、私どもは決してこれをセレモニー的に進めていこうというつもりはございませんので、議論の段階によっては、今いただいたような御意見も踏まえまして、皆さんの意見が活発に交換できて、よりよい制度設計ができるような形を、会長さんとも御相談をしながら検討していきたいと思えます。

## 【委員】

子ども会とか、教育関係は毎年出されている小牧の教育というのを見ると、何々小学校は子ども会があるとか、出ているのではないですかね。僕が心配なのは、さっき言いました地域包括支援センター、高齢者の独居死のことを、かなり進めていくという方向で、毎年マニュアルというか、計画を更新されていると思うのですが、僕ははっきり言って、この地域協議会で何が課題になるのだと。

安心して継続して住めるまちというのも、この地域協議会が担うテーマが何かというところが、全部担うように見えるのですが、実はこうやって精査していくと、本当に少ないのではないかと。むしろつなぎ役になるのではないかと思うのですが、その辺どういうふうにしていこうかということが知りたいということです。

### 【事務局】

包括支援センターの関係ですが、実は第2次地域福祉活動計画というのを社会福祉協議会さんの方でつくってみえまして、その中で重点施策として、ご近所福祉ネットワーク委員会というものを検討しております。

これの中身というのは、包括支援センターを含めまして、地域協議会の福祉版のようなものをつくっていこうということで計画が既に立てられておりますので、こういう活動とも十分庁内連携をとりながら、地域協議会の制度についても検討していく予定でおります。

### 【委員】

西部も行政区が12区ありますので、12区とも区長さんのお手伝い、それから子ども会、3あい事業など、その協力を得てやっているのですが、実際、それぞれ単独でお願いしますということは当然できないので、協力をお願いしますということで、何とかやっております、12区あるから今のところ回っています。

地域ということで見るとなれば、今日は校長先生も見えますが、村中校区、校区ごととなると村中校区になると思いますが、事実、村中校区の7地区の中の1つはほぼ小牧寄り、ほぼ教育関係も小牧原小学校区です。

西部のほうには、何とか地域ということで、区長さんには文句を言われながら手伝ってもらっている状態なので、校区ごとにこれを今後やっていこうと思うと、その線引きが難しい。

もちろん村中校区にとっても、各地区4つぐらいがかなりよその小学校に行っているという状態になってきていますので、これを校区で見るのか地域で見るのかということで、かなり問題が出てくると思います。

### 【事務局】

ありがとうございました。

御指摘の西部地区につきましては、三ツ淵小学校区にコミュニティ推進協議会があつて、巾下地区に西部コミュニティ運営協議会があるという状況の中で、このまま地域協議会なるものを単純に加えるということは、私どももとても無理だと思っていますし、区長さんとの意見交換会でもそう思っていますので、その問題意識を持って、検討を進めていきたいと思っております。

## 【委員】

私は、民生児童委員の立場で申し上げますが、きょう第1回の地域協議会ということで資料を初めて見せていただいたのですが、地域福祉計画と大体似たりよったりの内容だなあとと思うわけです。

ひとつの例として、地域の連携がありまして、私ども北里地区に関しては、災害時要介護者のマップづくりを3年前につくっております。災害弱者が大勢おり、200人としていますが、障害者から独居老人から、本当に高齢者が大勢おられますが、そういうことについて、また見直しをして、区長さんにもそういうお願いをしました。

そのモデル地区を北里地区がスタートでやりましたけれども、そういうことも市内全体にやってもらえたらなあとと思いますが、なかなか地域差というか、温度差というか、これは昨年3月11日の大震災でも懲りずに、小牧は安全・安心に対する危機感がない。

私どもでできるのは本当に地域を見るとかそういうことはできるんですが、そういう小牧の環境というのですか、地域があるのですが、なかなか6地区の民生の地区委員もこういうことはいいことですなで済んでしまう。これ以上は仕事を増やさないと、もう目いっぱいですからというのが現状でございます。

これは非常に大事な問題とは思っておりますが、きょうの御意見を聞いてももっともだと思いますけど、そういうふうに、今日は第1回でございますので、自分達がやれることをやっていく。本当に絵に描いたもちではなくて、やってもらってよかったなあとということでもあります。

今、地域福祉計画にしても、地域座談会というのがありますが、出てこられる方は、見ておりますと同じ顔ぶれということで、同じ意見ばかりです。

北里地区は高齢化率も高いし、どっちかいうと人口も少ないところで、穏やかなところだと思っておりますが、そんなようなことで、安心してはおりませんけれども、その辺のことで皆さんの御理解で、そういうことで進めていったらどうかと思います。

きょうの率直な意見はそのとおりだと思いますけど、自分たちでできることをやるということが大事ではないかと思っております。また、民生児童委員には、今度27日の役員会で意見交換をやっていただけるということ聞いております。広報にも出ておったようでございますが、市民はなかなか広報も見ておりません。なかなか浸透していないのが現状かなと思っております。意見だけでございますが、よろしく願いいたします。

【会長】

貴重なご意見ありがとうございました。

【委員】

陶小学校区は上末・下末・高根の3区で、比較的地域性も似ており、まとまりやすい地域だと思っている。すでに3区合同で夏祭りを実施しているが、区単位で実施していたときより効率的な運営になったと思う。

また、防災訓練も合同ではじめたら、いままでは会館の前で小じんまりやっていたけど、合同で開催したことで、スケールの大きい、内容の濃い訓練ができた。やはり区単位では限界があるが、区を越えて活動することのメリットはあると思う。

【会長】

ありがとうございました。建設的な御意見でよろしいですね。  
何かそのほかありませんか。

【委員】

16校区の小学校を基本でやるということですが、子供たちのためにと、いろいろな関係で、区でやるのではなく、区をまたいで地域協議会を立ち上げてやると。

いわゆる今の小牧市とかの人口とかそういうのは分かるのだが、いままでの取り組みがある中で、ここに課題があるとかそのへんを踏まえ、現状はこういうことが問題だから地域協議会を立ち上げるといふことにしないと、何か一つ仕事が増えただけと感じてしまう。

いままでやってきた中でも、区をまたいで協力してやってきたものもたくさんある。現状はどうだということを振り返るべきだし、このままだと、逆に現状の活動が窮屈になる恐れがある。

【事務局】

今、各課題が明らかでないということで御意見をいただきました。確かにおっしゃるとおりで、私どもも地域に入って、いろんな地域でいろんな地域の現状に合った課題があることは、それぞれの地域がそれぞれ持っております。これを全部整理するというのは大変、私どもも難しいのかなあと感じておりますので、先ほど申し上げたとおり、16校区で一度またそんな課題を整理するようなことがで

きないかということ、この地域協議会で検討していきたいと考えております。

それと、今実際に一生懸命やってもらっている活動が窮屈になる可能性があるのではないかとあります。一方的に私どもがこの地域協議会というものを入れようとすれば、当然そういうことになってくると思います。先ほどパワーポイントで御説明しましたとおり、少し広い範囲でやれば、効率的、効果的にやれるものは地域協議会で、今までどおりのもので十分効果も発揮しているし、区民の皆さんも喜んでいただいているものについては、地域協議会の中の相談の中で、そのままという選択が、よりよい方向でしていけるようなものになっていけばいいかと考えております。

### 【委員】

今、ほかの委員の方がいろいろ質問されたことを受けて、思うのですが、行政というか、市のほうで3あい事業とかいろいろやっている中で、一律じゃないわけですね。先ほどから例に挙げさせていただいている社協の地域包括なんかは、国の厚生労働省の流れの中での事業ですね。これは日本中でやっていることですよ。

そういうことと地域単独でやっている、3あい事業なんかは市で単独でやっていることですね。その辺、本当は行政の人が一番よく知っているはずだし、そういうことで大きなくりを押さえていただいて、それから地域の課題を整理するのは大変ということですが、当然大変なのはわかっているけど、これは行政のやるべきことだと思うんですよ。

だって、全部の課があって、全部どこでやっているかというのもデータ化されているわけですね。そこを見るだけで、仕分けすればできるわけで、そういうことの中で、今16校と言われますけど、私の提案としては、小牧、味岡、篠岡、北里、小牧は巾下、小牧、南と6つですよ。そうすると、各センターがあって、先ほどありましたけれども、どこかにカウンターの中の1つテーブルでもいいから、そこに事務局というものが置けると思うのです。それで、会議もそれぞれそのところでやると。

できれば、こんな平日の昼間じゃなくて、夜設定するとか、場合によっては大勢参加いただいて、課題だとかいろんな情報共有していくことをやるとか、もう少し従来の会議の設定で物事を進めていくというやり方じゃなくて、先ほど市長がスピーチされた中で、もう地方分権はそのとおりだと思うんです。

どんどん地域と自治体の責任も役割も予算も、予算はわからない減収の来る中

で、どんどん地域と連携していくという方向だと思うんで、これは何らかの形で役割分担とか連携を図らなきゃいけないと思うんですけれども、従来のやり方で物事を進めていくというんじゃないかと、だとすればもっと地域に近い範囲で、学校区に区切るというのは、余りにも中身がばらばら過ぎる。

じゃあ16校、1つのルールでいくなんていうのも、また杓子定規な話で、だとすればある程度1つの物差しでやるといったら、6つの範囲で物事をつかんでいき、課題をあぶり出していくということが、僕が現実的だと思うんです。

だから、小学校区が単位はもう決まりなのかというところに戻るわけですけど、その辺まで戻ってというか、検討し直すということは可能ですか。3つぐらいにまず絞って。

### 【事務局】

例えば課題についても、行政が認識している課題と、地域における課題には、ずれがあるというふうに思います。

先ほども言いましたように、行政のほうから一方的にこうなさい、ああなさいということは一切考えておりません。

先ほどからもお話をさせていただきましたように、地域によってそれぞれ課題の認識というのが違うというふうに思いますので、まずは行政が考えている課題と地域の課題のずれを確認するという意味でも、地域の中に入れていただいて、その課題について1つずつ検証していきたいと、こんなふうに思っています。

それと、単位の問題なのですが、基本は小学校区単位でやりたいなというふうに思っていますが、例えば南部さんですとか西部さんですとか、既にコミュニティ活動をされているところもありますし、地域によってはこのぐらいのくくりのほうがいいよという、それぞれの御意見があると思いますので、ベースは小学校区単位で考えたいと思っていますが、何もこれを無理に小学校区単位で必ずやりたいと、こんなふうに思っているわけではありません。

それはなぜかという、行政でやれることではないからなのです。要は地域の皆さんがそれぞれお考えをいただいてやっていただきたいというのがベースにございますので、行政だけで進めるのであれば、最初から小学校区単位の枠をはめてやればいいのですが、そういうことでなくて、行政と市民の皆さんと手を取り合って、こういった組織を運営していただきたいという思いが根底にありますから、小学校区単位に必ず限定をするというつもりはありませんし、小学校区単位でまとまっていただけのものであれば、それはそれでいいかなというふうに思

っていますので、とりあえずベースとしては小学校区単位として考えていきたいと思っておりますが、それに固執するつもりはございませんので、その辺は御理解をいただきたいと思っております。

いずれにしても、今日もいろんな御意見をいただいております。そういった御意見を踏まえる中で制度設計をしていきたいというふうには思っておりますので、行政のほうから素案を出して、これを追認していくような組織としては考えておりません。

いろんな御意見があつてしかるべきですし、いろんな考え方があつて、その中でどういう小牧に合った地域づくりのためのアプローチができるかということをごみんなで御議論していただきたいと思っておりますので、いろんな会議体のあり方については、これから皆さんと御相談をさせていただきながら進めていきたいと思っておりますので、その辺はお願いしたいと思っております。

いずれにしても、行政主導でこの会議を持っていきたいというふうには一切思っておりませんので、いろんな御意見をいただく中で、会議としてまとめ上げていただきたいと思っておりますので、よろしくお願いしたいと思っております。

#### 【委員】

これからやろうとする目的が分かりにくい。この会議で何をやろうとしているのかイメージできないので、他市の事例紹介があると分かりやすい。

#### 【事務局】

ありがとうございました。

目的については、地域協議会ですので、まず地域で協議をしてもらう。区長さんをはじめいろんな方が見えますので、その情報共有をしっかりといただいて、地域に何が課題か、その課題を解決するために何ができるか。

自分たちにできないけれども、行政に何を頼んでいくかということをご情報共有して、課題を共通認識していただくような目的を持っているのではないかとこのように考えております。

さまざまな先進事例がございます。小牧に参考になる事例をまた私どものほうで整理をして御紹介をしていきたいと思っておりますので、よろしくお願ひいたします。

#### 【委員】

そうすると、確認させていただきたいが、地域協議会のイメージ、組織体制と

いうのがあるが、こういう組織でこういうふうにしてこういう部会を、こうしてこういうふうにつくったらどうですかという骨組みをつくるんですかね。

それには、これとこれとこれが部会というか、それぞれの区の下部組織や何かがあるけど、そのどこまでが入って参加してやっていくかということは、それぞれ地域に任せると。

そうすると、ここではある程度骨組みをつくって、こういう組織図でそれぞれの地域が6つになるか、13になるか、16になるか知らんけど、つくる方向性を決めればよいということね、この会議は。わかりました。

### 【委員】

意見ということで、述べさせていただきます。

まず事務局の皆さん、大変だと思いますが御苦労さまでございます。

私は下末ですが、先ほどの上末の区長さんがおっしゃったように、8月5日に合同夏祭り、これ3回目ですけど、行います。その中には、きょう20名の中に私も、それからボランティア委員長もおみえになります。

小学校区ということで、上末と下末といて高根の方が見えないだけで、なんでございますけど、陶小学校区は小牧市内で一番小さい校区かと思います。

何をやるにしても、恐らくほかの校区よりはやりやすいと言ってはいかんけど、苦労は多いのですけれど、まずできるのじゃないかということで、何とか小牧に住んでよかったという1つの絆をつくれるような校区として、モデル校区に一遍手を挙げてみようかなと思います。

やってみんことには何ともならないので、枠の問題とか、いろんな根本的な問題もあるでしょうけれども、一遍とにかく走ってみて、途中で考えてみて、やってみたらどうでしょうかということです。

### 【会長】

男性から意見がよく出ましたけど、女性からちょっと意見を出してもらえますか。

### 【委員】

私は、本庄で3あい活動をしているのですが、やっぱり震災のこともあり、課題は防災かなと思っていまして、区だけでやってもちょっとという感じなのですが、避難所というのは小学校と決められているので、校区内で年1回、

お祭りみたいなイベントで防災を考えるということがやれるといいなと思っています。

あともう1つ、これからどんどん60歳以上の人口が増えていくんですね。だから、その部分で、まだまだお元気な方がいっぱい見えるので、その方たちが元気になるようなことを考えられる地域協議会になっていけたらいいなと思っています。本庄は既存のコミュニティ組織がないので、本庄をちょっとモデルでやってみたいという思いがあります。

#### 【委員】

私は南岩崎台区で保健連絡員をしています。うちの区は、本当に様々な活動をしていると思っています。ただ、保健連絡員の活動で赤ちゃん訪問がありますが、高齢化でほとんど赤ちゃんがいない状況です。

#### 【会長】

ありがとうございます。

それでは、最後の締めで区長会の連合会長をお願いします。

#### 【委員】

実は区長会のほうでは、地域協議会について、少し前からいろいろと市の考え方をお聞きしていますし、また先進地視察もしています。

今日の会合というのは、自分たちが発起してというよりは、地域にこういうのをつくっていただいて、その中に課題があれば、それを地域の中で解決していくと。こういった感じでいいのじゃないかなと思うのですね。地域のルールを地域で決めてもらう。そういった中で人間関係を作っていく。

ですから、自分がすぐどうするというわけではなくって、それぞれやれるところから課題について、地域協議会なるものがどんなものになるかということも含めて協議していかれるのが良いと思います。

できるだけ事前に協議をして、問題、課題があれば、充分話し合いをして、より良い地域協議会を作っていくというふうに思います。

そんなことで、きょうは本当にそういう方向性ということで、区長会のほうとしては以前から話は聞いておりますが、皆さんにとっては初めて聞くことだと思いますので、議論のできるうちに皆さんのお知恵をお借りしながら、決めていきたいと思っています。

【会長】

どうもありがとうございました。

いろいろ皆さんのほうから意見が出ましたけれども、また事務局で色々とお調べいただき皆さんの質問に答えられるように、資料もそろえていただくということで進めていきたいと思えます。

時間の関係上、まだ皆さん方の御意見もあると思えますが、一応この問題については締めさせていただきまして、次に移りたいと思えます。

それでは、その他の次回の会議日程について事務局より説明願います。

〔事務局から次回の会議日程について説明〕

【会長】

それでは、きょうの議題はすべてこれで終わりました。

長時間、御協力いただきまして、ありがとうございました。

また、次回、皆さん方の御意見を持ち寄っていただいて、有意義に協議会がうまくいくように、御協力をお願いしまして、以上で終了させていただきます。ありがとうございました。